

予告なし避難訓練

2月7日(金)、今年度最後の避難訓練を実施しました。これまで、「地震の際に教室から避難するルートの確認」「火災時の避難」「引き渡し訓練」「水害を想定した垂直避難」など、様々な訓練を行ってきました。

学校は、多くの時間は教師と一緒にいるため、地震などの災害が発生しても、教師の指示のもと確実に避難することができます。しかし、災害はいつ起きるかわからず、休み時間など子ども達だけで過ごす時間帯に発生する可能性があります。そんなときこそ、これまで行ってきた訓練を思い出し、安全に避難してほしいと願い、今回の「予告なし避難訓練」を実施しました。

訓練中、校庭で遊んでいた子ども達の様子を見ていました。教頭先生の避難訓練を告げる放送を聞いた瞬間、走って校庭の真ん中に集まりました。少ししゃべり声はしましたが、とても素早い動きでした。



その後、近くにいた先生の先導で避難してきたり、近くにいた子ども達でまとまって避難してきたりするなど、状況に応じて校舎内から校庭へぞくぞくと避難し、これまでの避難訓練で最も短時間で避難が完了しました。舞鶴小の子ども達の真剣さが伝わる、素晴らしい訓練だったと思います。

【参考】

「垂直避難」とは、水害や土砂災害などの災害発生時に、今いる建物やすぐ目の前にある建物の2階以上のなるべく高層階へ移動する避難方法のことです。以前は、水害の危険があるときには、原則として避難所への避難が推奨されていましたが、現在は鉄筋コンクリート製の高層建築が増えたこともあり、状況によっては建物の2階以上に避難して救助を待つ「垂直避難」も避難の選択肢となっています。

舞鶴小では、今年度も、「体育館で授業をしているときに災害が発生したことを想定し、2階以上にある各教室に戻る」という形で訓練を実施しました。

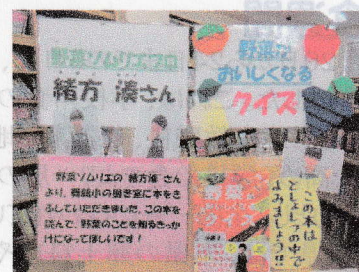
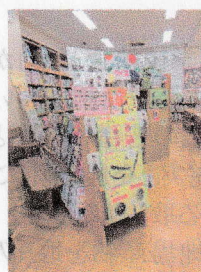


バランスよく食べ、丈夫な体をつくろう

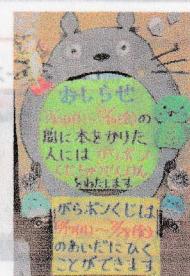
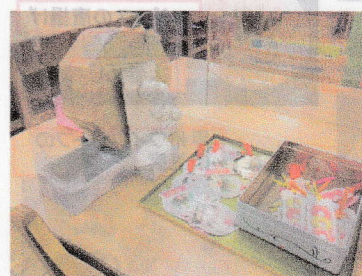
学校では、食育に関する取り組みとして、栄養教諭が各学年を訪問し、健康な体を作るための食物の働きなどについて話をしています。担任も、日々の給食指導の中で、バランスよく食べることの大切さを伝えています。

今年度の「まいづるまつり」では、PTA本会役員が中心になり、「食育」をテーマにしたブースを設けました。一人一人の野菜摂取量を測る「ベジチェック」、野菜クイズ、展示など、子ども達は、楽しく食育について学ぶことができました。後日、野菜ソムリエの緒方湊さんから野菜の本を寄贈していただきましたので、図書館に「野菜」に関するコーナーを設置し、子ども達が楽しく野菜について学ぶことができるようにしました。

今後も継続した食育に関する取り組みを進め、子ども達がバランスよく食べる習慣づくりを目指します。



図書館では、そのほかにも楽しいコーナーを設け、子ども達が図書に親しみ、読書の楽しさや喜びを培い、豊かな人間性を養うことを目指しています。3学期の目玉企画は「がらポンくじ」です。期間中に本を借りた人は抽選券がもらえ、その枚数を回数としてくじを引くことができます。がらポン抽選機も当たりのグッズも図書委員の手作りです。



舞鶴小の図書室は、読書の楽しさや喜びを感じることができる素敵な空間です。ぜひ、ご家庭でも話題にさせていただくとともに、ご家庭で、親子で本を読む機会も作っていただきたいと思います。

